

# 平成22年度 教育に関する事務の点検・評価報告書 「あいちの教育に関するアクションプラン」実施状況報告書

概要版

## 趣旨

愛知県教育委員会では、平成19年4月に、教育に関する総合的な行動計画である「あいちの教育に関するアクションプラン」を策定し、着実な推進に努めるとともに、毎年度、施策の実施状況の把握と評価を行っています。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に位置づけられている事務の管理・執行状況の点検・評価にあたるものです。  
なお、平成22年度はアクションプランの目標年度にあたることから、アクションプランの全期間（4年間）についての成果と課題についてとりまとめました。

## 計画の内容

『「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現』を本県教育の基本理念とし、人間像ごとに、家庭・地域・学校が行うべき取組内容とそれを支援する県の施策を掲げています。  
目標年度 平成22年度

## I

### めざす「あいちの人間像」

#### 1 「かけがえのない自他の命を大切にすることのできる人間」を育てるために

##### 主な施策の実施状況

- ◆地域と共生する学校づくり推進事業〔幼稚園2園、小学校6校、中学校4校、高等学校13校、特別支援学校21校〕
- ◆人権啓発の推進〔人権ハートフルフェスティバルの開催〕
- ◆スクールカウンセラー設置事業〔小144校、中303校、高23校〕
- ◆防災教育推進事業〔高大連携「高校生防災セミナー」の開催〕
- ◆愛知県社会福祉協議会への支援〔福祉実践教室936校、福祉読本「ともに生きる」の作成・配布〕



お年寄りとの交流活動  
(地域と共生する学校づくり推進事業)



高校生防災セミナー  
(防災教育推進事業)

など21施策

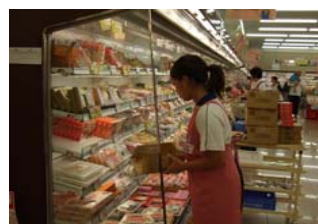
#### 2 「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」を育てるために

##### 主な施策の実施状況

- ◆「学習エキスパート」派遣事業〔小中学校60校に派遣〕
- ◆普通科コース制の設置〔一宮北高校(福祉実践コース)、東浦高校(情報活用コース)〕
- ◆「あいち・出会いと体験の道場」推進事業〔全公立中学校実施〕
- ◆特別支援教育コーディネーターの配置〔特別支援学校28校へ配置〕
- ◆外国人生徒サポート事業〔県立高校14校に配置〕



授業風景(落語の達人  
〔「学習エキスパート」  
派遣事業〕)



スーパーマーケットでの職場体験  
(「あいち・出会いと体験の道場」  
推進事業)

など26施策

#### 3 「健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間」を育てるために

##### 主な施策の実施状況

- ◆総合型地域スポーツクラブ推進事業〔活動中35市町・準備中7市町〕
- ◆からだと心の健康教育推進事業〔教員向け専門講座の実施〕
- ◆親子で考える朝ごはんキャンペーン〔朝食調理コンテスト開催(小5・6年生、応募数5,661点)〕
- ◆あいちトリエンナーレ2010の開催  
〔キッズトリエンナーレや学校向け教育プログラムの実施。最終来場者数:572,023人〕
- ◆「愛知県子どもの読書活動推進協議会」の開催〔年2回〕



アスリートとのふれあい  
(総合型地域スポーツクラブ推進事業)



キッズトリエンナーレの様子  
(あいちトリエンナーレ2010)

など20施策

#### 4 「次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間」を育てるために

##### 主な施策の実施状況

- ◆英語の授業改善〔外国語指導助手(ALT)の配置40人〕
- ◆県立学校情報化推進整備事業〔インターネット接続回線の増強など通信環境改善〕
- ◆子どもCOP10あいち・なごやの開催等〔国際子ども環境会議568人参加、環境学習成果の展示〕
- ◆総合技術高等学校の設置〔基本設計〕



国際子ども環境分科会の様子(美浜町)  
(子どもCOP10あいち・なごや)



ALTによる授業  
(英語の授業改善)

など20施策

## II

### 魅力ある教育環境づくり

「あいちの人間像」に迫る取組を推進するために、その基盤となる教育環境を整備

#### 主な施策の実施状況

- ◆子育てネットワーク活用事業〔累計育成人数1,317名〕
- ◆少人数教育対応教員の配置〔小1・2、中1で35人学級の実施〕
- ◆県立学校施設の整備〔耐震改修工事等の実施〕
- ◆大学との連携推進に向けた意見交換会〔農・工・商部会別連携協議会の開催〕
- ◆NPOとの意見交換会〔年2回〕



中学生の赤ちゃんふれあい体験  
(子育てネットワーク活用事業)



NPOとの意見交換会  
(ウィルあいち)

など29施策

## III

### 22年度重点テーマ「情報モラルの向上」

22年度は21年度に引き続き「情報モラルの向上」を重点テーマとし、家庭・地域・学校が一体となった取組を推進

- ◆県内全ての公立小中高校特別支援学校(名古屋市を除く)保護者向け広報誌「パレット」での啓発

「ネット社会の危険から子どもを守りましょう」をテーマとして、子どもが危険な目に「本当にあった話」などを掲載

- ◆専門機関によるネットパトロール事業

全ての県立学校176校(高等学校151校、特別支援学校25校)を対象として、学校に関するインターネットの掲示板等における不適切な書き込み等を検索し、未然にトラブル等を防ぐとともに児童生徒の情報モラルの向上を図った。

- ◆教員や保護者向け研修の開催

県内12地域において、各学校や家庭で効果的な指導を実施できるように、ワークショップ、事例研究会等を開催し、教員や保護者の情報モラルに関する教育力・指導力を高めるための取組を実施